

■2020 栄光サッカークリニック(第4回実施レポート)

◇日時:2020年12月12日(日)14:30~16:30

◇場所:片瀬中学

◇参加:千野コーチ、高橋

◇内容:湘南ブロック新人戦第2戦の試合観察

(1)概要

R2 年度湘南ブロック中学サッカー新人戦の第2回戦トーナメントを観察。

(2)試合経過

・栄光 1 (0-0,1-0) 0 片瀬中

(3)観察レポート

- ・前回までの試合と比べてチーム全体の勝とうとする意欲が感じられました。
- ・前半は特に攻撃に意識が込められていて相手を圧倒していたが、後半は疲労からか意識が維持できなかった。
- ・トップのポストと他のFWとの連携が未完成なのでまだ結果につながらないが2列目の選手達との連携を含めて育てたい得点パターンが期待できそう。
- ・全般にヘディングの打点が低いので、高い位置での競り合いの練習が必要。

(高橋)

・前半は得点こそあげることができませんでしたが、今回の試合の内容を続けていけるのであれば今大会でも良い結果をあげられるでしょう。

・前線からの守備に対して回りの選手が素早く連動していたためほとんど相手陣内でプレイを続けることが可能になっていました。

>その結果、得点に繋がる可能性があるシーンを6回も作り出せていました。

>得点は勿論重要ですが、偶然の得点では得点を重ねていくことは難しいと思います。

>得点を挙げるには相手の守備陣を崩す場面を数多く持てばその可能性を上げられると思います。

>勿論フィニッシュの精度の向上など課題はありますが、その意味では攻撃は機能していたと言えるでしょう。

・さらに守備の連動が相手の攻撃の機会をあたえず、相手チームにシュートをうたれて失点するような事態に陥ることはありませんでした。

・しかし後半は相手チームの左利きのセンターバックのロングボールでハーフウェイラインを越えて押し返されることが数多くありました。

>この場面で相手にもっと早く寄せることで、蹴り足の左足を押さえられればもっと楽な展開に持ち

込めたのではないのでしょうか。

- ・スタミナの問題も露出していました。

＞体力面だけでなく前述したように観察力の衰えというような頭で考えるスピードにも遅れが見られ、グループでの連動に齟齬が生じていました。

- ・そんな状態の中、選手交代のカードを使いチームの体力を維持させることができていたことは評価できると思います。

- ・次回の試合にも期待しています。

(千野)